



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月8日

上場会社名 日本KFCホールディングス株式会社  
 コード番号 9873 URL <http://japan.kfc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 金原 俊一郎 TEL 045-307-0700

四半期報告書提出予定日 平成29年11月9日 配当支払開始予定日 平成29年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・証券アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	36,858	11.7	127	84.7	229	70.8	844	102.1
29年3月期第2四半期	41,751	1.5	834	46.8	783	63.4	417	124.2

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 924百万円 (135.8%) 29年3月期第2四半期 391百万円 (53.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	37.68	
29年3月期第2四半期	18.64	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	37,406	21,394	57.2	957.20
29年3月期	39,484	21,178	53.6	944.43

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 21,394百万円 29年3月期 21,178百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		25.00		25.00	50.00
30年3月期		25.00			
30年3月期(予想)				25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,400	12.1	1,200	53.1	1,000	58.8	1,500	9.8	66.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(注)特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社であった日本ビザハット株式会社及びフェニックス・フーズ株式会社は、平成29年6月12日付でエンデバー・ユナイテッド・パートナーズ・シックス株式会社への株式譲渡が完了したことから、当社連結子会社より除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	22,783,000 株	29年3月期	22,783,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期2Q	432,019 株	29年3月期	358,919 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	22,407,975 株	29年3月期2Q	22,424,101 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日銀による金融政策などを背景に緩やかな回復基調にあるものの、米国政権運営に対する不確実性や北朝鮮情勢に関する地政学的リスクの懸念などに伴い、先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、労働力不足に伴う人件費や物流費の高騰に加え、小売業との垣根を越えた激しい顧客獲得競争にさらされており、依然として厳しい経営環境が続いております。

“おいしさ、しあわせ創造企業”の経営理念の下、本年度におきましても「原材料・素材・手づくり調理へのこだわり」「商品開発力の強化」「現場力のさらなる強化」の3つを基本方針に掲げ、食の安全・安心の徹底、お客様のニーズに合った商品開発、より魅力的な店舗づくりに邁進しております。

また、平成29年6月12日付で、平成3年(1991年)より事業展開してまいりましたピザハット事業を譲渡し、今後は事業ポートフォリオの入替による資産効率の改善という課題にも積極的に取り組んでまいります。

しかしながら、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、主にKFC事業における人件費の高騰、ピザハット事業の株式譲渡に係る特別損益の計上等により、売上高は368億5千8百万円(対前年同四半期11.7%減)、営業利益は1億2千7百万円(同84.7%減)、経常利益は2億2千9百万円(同70.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億4千4百万円(同102.1%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間の連結財政状態は、総資産は前連結会計年度と比較して20億7千7百万円減少し、374億6百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産の減少6億3千4百万円、無形固定資産の減少4億6千5百万円、差入保証金の減少6億7千5百万円等によるものであります。

負債は前連結会計年度と比較して22億9千4百万円減少し、160億1千1百万円となりました。その主な要因は、買掛金の増加9億5千6百万円、未払金の減少13億7千2百万円、未払法人税等の減少3億円及び退職給付に係る負債の減少4億3千2百万円等によるものであります。

純資産は前連結会計年度と比較して2億1千6百万円増加し、213億9千4百万円となり、自己資本比率は57.2%となっております。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上8億4千4百万円、剰余金の配当による減少5億6千万円等によるものであります。

#### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間と比較して2億3千3百万円増加し、146億2千9百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは12億1千2百万円の収入となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益12億1千3百万円、減価償却費11億5千8百万円、子会社株式売却益13億7千4百万円及び仕入債務の増加21億1千7百万円等によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは9千9百万円の支出となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出13億3千9百万円及び連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入10億3千2百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは10億5千4百万円の支出となりました。その主な要因は、配当金の支払額5億5千9百万円及びリース債務の返済による支出2億6千7百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、年間で業績管理を行っているため算出しておらず、通期業績予想のみを算出、開示しております。

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表しました「平成29年3月期決算短信」に記載の平成30年3月期の通期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,571	14,629
売掛金	4,076	4,021
商品	365	317
原材料及び貯蔵品	85	76
前払費用	452	415
短期貸付金	3	2
繰延税金資産	476	398
その他	760	847
貸倒引当金	△69	△77
流動資産合計	20,721	20,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,665	3,313
土地	2,242	2,242
その他（純額）	2,598	2,315
有形固定資産合計	8,506	7,872
無形固定資産		
のれん	4	4
ソフトウェア	2,178	1,657
ソフトウェア仮勘定	23	76
その他	0	3
無形固定資産合計	2,206	1,741
投資その他の資産		
投資有価証券	1,098	1,248
差入保証金	5,243	4,567
繰延税金資産	1,403	1,080
その他	412	319
貸倒引当金	△107	△54
投資その他の資産合計	8,049	7,162
固定資産合計	18,762	16,775
資産合計	39,484	37,406

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	5,824	6,780
短期借入金	80	-
未払金	4,184	2,811
リース債務	538	527
未払法人税等	436	136
未払費用	312	166
賞与引当金	562	297
役員賞与引当金	31	-
資産除去債務	146	11
その他	916	904
流動負債合計	13,033	11,637
固定負債		
リース債務	1,142	927
退職給付に係る負債	2,415	1,982
ポイント引当金	25	14
長期未払金	12	10
資産除去債務	1,105	961
その他	570	478
固定負債合計	5,272	4,374
負債合計	18,305	16,011
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,297	7,297
資本剰余金	10,430	10,430
利益剰余金	4,082	4,366
自己株式	△739	△887
株主資本合計	21,070	21,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116	203
為替換算調整勘定	△0	△1
退職給付に係る調整累計額	△7	△14
その他の包括利益累計額合計	108	187
純資産合計	21,178	21,394
負債純資産合計	39,484	37,406

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	41,751	36,858
売上原価	22,907	20,881
売上総利益	18,844	15,976
販売費及び一般管理費	18,009	15,848
営業利益	834	127
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	3	4
受取賃貸料	82	109
業務受託手数料	-	81
持分法による投資利益	-	25
その他	8	10
営業外収益合計	95	231
営業外費用		
支払利息	19	15
店舗改装等固定資産除却損	7	7
賃貸費用	83	88
リース解約損	8	0
その他	26	19
営業外費用合計	146	130
経常利益	783	229
特別利益		
店舗譲渡益	9	18
子会社株式売却益	-	1,374
受取補償金	-	50
その他	0	1
特別利益合計	9	1,443
特別損失		
固定資産除却損	30	8
減損損失	0	2
事業整理損	-	448
その他	1	-
特別損失合計	32	459
税金等調整前四半期純利益	760	1,213
法人税、住民税及び事業税	425	95
法人税等調整額	△82	273
法人税等合計	342	368
四半期純利益	417	844
親会社株主に帰属する四半期純利益	417	844



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	417	844
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50	86
為替換算調整勘定	-	△0
退職給付に係る調整額	24	△6
その他の包括利益合計	△26	79
四半期包括利益	391	924
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	391	924
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	760	1,213
減価償却費	1,262	1,158
減損損失	0	2
固定資産除却損	38	15
子会社株式売却損益(△は益)	-	△1,374
受取補償金	-	△50
事業整理損	-	448
リース解約損	8	0
店舗譲渡損益(△は益)	△9	△18
持分法による投資損益(△は益)	-	△25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	60	△31
賞与引当金の増減額(△は減少)	△98	△264
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△12	△31
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	33	△407
ポイント引当金の増減額(△は減少)	△4	12
受取利息及び受取配当金	△4	△4
支払利息	19	15
売上債権の増減額(△は増加)	△239	△776
たな卸資産の増減額(△は増加)	300	△13
仕入債務の増減額(△は減少)	129	2,117
未払金の増減額(△は減少)	△412	39
未払費用の増減額(△は減少)	54	△9
前受収益の増減額(△は減少)	296	248
未払消費税等の増減額(△は減少)	77	△167
長期前払費用の増減額(△は増加)	△29	△86
その他	△12	18
小計	2,221	2,030
利息及び配当金の受取額	4	4
利息の支払額	△19	△15
受取補償金の受取額	-	50
事業整理による支出額	-	△479
法人税等の支払額	△638	△378
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,567	1,212
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
店舗譲渡による収入	25	28
有形固定資産の取得による支出	△970	△1,339
有形固定資産の売却による収入	0	2
有形固定資産の除却による支出	△18	△156
無形固定資産の取得による支出	△475	△254
無形固定資産の売却による収入	-	1
貸付けによる支出	△3	△0
貸付金の回収による収入	6	302
敷金及び保証金の差入による支出	△308	△60
敷金及び保証金の回収による収入	67	330
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	1,032
その他	△4	14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,681	△99

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	△80
自己株式の取得による支出	-	△147
リース債務の返済による支出	△272	△267
配当金の支払額	△556	△559
財務活動によるキャッシュ・フロー	△829	△1,054
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△943	57
現金及び現金同等物の期首残高	15,339	14,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,395	14,629

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	KFC事業	ピザハット事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,554	7,101	2,094	41,751	-	41,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	298	109	3,452	3,860	△3,860	-
計	32,853	7,211	5,547	45,612	△3,860	41,751
セグメント利益又は損失(△)	255	△87	614	782	51	834

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引相殺消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	KFC事業	ピザハット事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	32,258	2,698	1,901	36,858	-	36,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	247	23	3,024	3,295	△3,295	-
計	32,506	2,721	4,925	40,154	△3,295	36,858
セグメント利益又は損失(△)	△357	△0	431	72	54	127

(注)1 セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引相殺消去額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。